

技術と経済

2007 年 年間総目次

右の①～⑫は月号、数字はページです。

●トップ記事

21 世紀の技術経営	中村 道治	・①	3
CTO から見た新規事業創出のマネジメント	今村 哲也	・②	2
日本の産業技術が抱える課題とこれからの行方	安永 裕幸	・③	2
MOT が日本の技術経営を担う—産業界からの課題と展望—	松村 雄次	・④	2
MOT が日本の技術経営を担う—「産業・技術」戦略の課題—	児玉 文雄	・④	20

◆イノベーションで創る活力ある未来社会

イノベーションがつくる 2025 年の社会を展望して

—イノベーターが未来を創る—	黒川 清	・⑨	2
イノベーションを先導する技術経営	丹羽 清	・⑨	13
我が国の技術イノベーション能力強化への課題	柘植 綾夫	・⑨	45

◆競争の中での技術戦略を探る

競争優位を実現する標準化形成戦略を考える	永島 晃	・⑩	2
多角化から財務リストラ、そして成長戦略へ	井上 善雄	・⑩	13
EIRMA2007 Annual Conference	佐久間 啓	・⑩	23

◆創造性に立脚した業務革新

日本の製造業における経営イノベーション	松岡慎一郎	・⑪	2
次世代ネットワークは生活やビジネスをどう変えるか	岡田 忠信	・⑪	19

◆クリエイティビティを俯瞰

クリエイティブな CTOP 創生に向けて	高島 秀行	・⑫	2
----------------------------	-------	----	---

●寄稿

電子政府から「緑の証明書」まで	村松 晃	・③	48
東アジアのイノベーションをテーマに AAAS で日中韓シンポジウム	三森八重子	・⑦	36

●連載・講演録他

◆アジアの創業事情……………増田 辰弘

ホーチミンで世界一低コストの肌着生産工場《ガンゼ》……………① 26

フィリピンの生産委託先の経営危機に M&A で進出を果たす……………② 48

カンボジア・シェムリアップでアンコールクッキーを製造、販売……………③ 44

革命的なビジネス手法でアジアビジネスを開拓……………④ 34

日本で一番新しいデジタル家電メーカー颯爽とデビュー……………⑤ 37

世界のベアリング製造会社を目指しベトナムと水平分業……………⑥ 20

遼寧省丹東人脈を幅広く活用して本格的中国経営……………⑦ 15

中国ビジネスで自分の土俵を創った山口銀行……………⑧ 39

中国で粉ミルク販売ビジネスに挑戦した森永乳業……………⑨ 26

日中の英知を集めた合作の日本語学学校……………⑩ 36

日本人向けウィークリーマンションを経営―宣客宣家……………⑪ 28

日本の日系企業の経営を支援する人材派遣業《大連ユニバーサル人材》……………⑫ 24

◆ダイバーシティを受け入れる社会を目指して……………堀井 紀壬子

ダイバーシティとは(1)……………① 29

ダイバーシティとは(2)……………② 35

ダイバーシティの歴史をたどってみよう……………③ 47

ダイバーシティは 21 世紀の企業経営成功の鍵……………④ 33

ダイバーシティ・マネジメントの現状……………⑤ 23

GOLD シンポジウムに参加して①……………⑥ 23

GOLD シンポジウムに参加して②……………⑦ 43

Gloval Summit Of Women に参加して……………⑧ 23

ダイバーシティ推進はいまブームなのか……………⑨ 25

ダイバーシティとセルフ・エスティーム（自己尊重感情）……………⑩ 39

「ダイバーシティ」と言わなくても……………⑪ 27

こんな時代だからこそ一人一人の生き方を考えて……………⑫ 22

◆技術予測シンポジウム講演録

低炭素社会に向けた挑戦～問われる日本の総合力から～……………藤野 純一・⑧ 14

インドの経済とビジネス……………森 秀三・⑩ 30

原子力高度利用の可能性……………堀 雅夫・⑫ 16

◆技経会コーナー

電電公社、NTT における R&D……………桑原 守二・② 21

いきいき健康ライフ―輝く脳と心を育てる―……………高田 明和・③ 26

21 世紀にあるべき企業経営の方法論を求めて……………山口 栄一・⑦ 2

王子製紙におけるバイオマスへの取り組み……………奥島 俊介・⑧ 2

技術経営会議第 65 回本会議議事模様……………⑫ 58

◆明経会コーナー

職場のメンタルヘルスマネジメント—メンタルヘルス不全の企業リスク—……………松本 桂樹・⑧ 24

◆技術競争戦略研究会

創業 10 年で世界のトップグループ入り……………秋山 咲恵・⑤ 12
 日本に向けて—日本から世界に向けて—高級ブランド LEXUS ……………トニー 藤田・⑥ 2
 ラジコンのヘリコプターで世界トップシェア ……………松坂 敬太郎・⑦ 18
 低コスト化に貢献する高付加価値ものづくり ……………平林 健吾・⑧ 42

◆産学連携 実践技術経営講座

イノベーション強化への世界的産業転換とカーブアウト起業の勧め……………渡辺 誠一・① 17
 日本版 LLC・LLP 制度について……………石井 芳明・② 34
 技術経営とテクノロジー・インテリジェンス……………菅澤 喜男・⑤ 24
 イノベーション・リーダーの思考と行動様式の体系化……………渡辺 日出男・⑥ 24

◆メンテ研コーナー

リスク対応とメンテナンス……………加藤 悟・⑤ 2
 プロダクト・ライフサイクルの状況と車両への顧客要望事項の反映について……………吉岡 恵・⑧ 48
 製品中心のビジネスからサービス指向のビジネスへの転換……………Dr. Jay Lee・⑨ 29

◆未来工研コーナー

2つの社会が交差する場所で—ブログ・SNS と地域コミュニティ—……………緒方 三郎・① 30
 市井の人とメディアの新潮流……………森 康子・② 51
 技術分野間の融合・連携に関する課題……………菊田 隆 ・③ 55
 未来学に未来はあるか……………長谷川洋作・④ 38
 産業社会の“持続化”に向けて……………大竹 裕之・⑤ 40
 欧州電磁界政策を支える科学委員会と研究技術開発フレームワークプログラム……………本間 純一・⑥ 37
 街路で ID を読取る仕組み—行動追跡を防ぐための一つの提案—……………清水 隆治・⑦ 24
 「美しい”移民政策”」への転換に向けて……………中原いずみ・⑧ 51
 “個人経営企業向けの包括的な情報セキュリティ対策サービスの実現……………笠井 祥 ・⑨ 36
 人口減少国ニッポンの処方箋……………和田 雄志・⑩ 40
 調和型国際関係を目指す東アジアの動き……………稗田 浩雄・⑪ 52
 知的財産に関する実態について……………諸橋 勝栄・⑫ 63

◆日本 MOT 学会による査読論文

家庭用エネルギー分野における破壊的イノベーションの定量分析……………森本 智史／玄場 公規・① 33
 オープンイノベーションによるプラットフォーム技術の育成……………吉久保誠一・③ 59
 産業財の標準化形成に関する研究……………永島 晃／長平 彰夫・④ 44
 最高経営責任者（CEO）の戦略転換の可視化……………小平 和一郎／児玉 文雄・⑤ 44
 《俯瞰解説》MOT（技術経営）のゴールは CEO……………角 忠夫・⑥ 42
 間接業務用生産財事業におけるマーケティング戦略の分析……………杉山 一英／長田 洋・⑦ 30
 《俯瞰論文》産業革命パラダイム・200 年……………佐野 令而・⑧ 54
 日本環境変化と R&D 戦略—化粧品産業における R&D 戦略再構築と基礎研究との関連強化—……………松井 順一／渡辺 孝・⑨ 39

《俯瞰論文》MOT知識の体系化・普遍化……………	児玉 文雄・⑩	44
究テクノロジープッシュ・イノベーションの3 Step モデル……………	渡辺 孝・⑪	56
定量的指標を用いた特許請求の範囲の記載分析と樹形モデルによる考察……………	安彦 元／田中 義敏・⑫	68

● JATES コーナー

エネルギー環境教育国際シンポジウム（後編）……………	①	38
第41回通常総会議事模様……………	⑦	44
JATES 創立40年を顧みて（その1）……………	⑩	50
JATES 創立40年を顧みて（その2）……………	⑪	32
JATES 創立40年を顧みて（その3）……………	⑫	27

● 書評

“日本離れ”できない韓国……………	田子島 一郎・①	52
誰のための会社にするか……………	大谷 卓史・①	53
若者はなぜ3年で辞めるのか？……………	田子島 一郎・②	54
インテリジェンス 武器なき戦争……………	田子島 一郎・③	64
「豊かさ」の誕生 成長と発展の文明史……………	大谷 卓史・③	65
日本経済に関する7年間の疑問……………	田子島 一郎・④	52
イノベーション 悪意なき嘘……………	大谷 卓史・④	53
論より詭弁—反論理的思考のすすめ—……………	田子島 一郎・⑤	52
中国におけるホンダ二輪・四輪生産と日系部品企業……………	大谷 卓史・⑤	53
学者のウソ……………	田子島 一郎・⑥	48
NASAを築いた人と技術—巨大システム開発の技術文化—……………	大谷 卓史・⑦	56
サービサイジング……………	山崎 順・⑦	57
サービスサイエンス……………	中川 幸也・⑧	60
イノベーションと企業家精神……………	大谷 卓史・⑧	61
現代の貧困—ワーキングプア／ホームレス／生活保護—……………	田子島 一郎・⑨	54
超波及度で世界を変えたイノベーター……………	大谷 卓史・⑨	55
中国の不思議な資本主義……………	田子島 一郎・⑩	61
持続可能な福祉社会……………	大谷 卓史・⑩	62
未来を予測する技術……………	田子島 一郎・⑫	74

今年も1年間ご購読頂き、誠にありがとうございました。

これからも皆様のお役に立てる紙面づくりに鋭意努力していく所存です。どうか来年もよろしく願いたします。

「技術と経済」編集部